

教育心理学

専門教育科目／2単位／M授業

担当教員 田中 陽子

◆参考テキスト 櫻井茂男(監修)・黒田裕二(編著)『実践につながる教育心理学 改訂版』北樹出版 2021

講義概要・一般目標

教育心理学とは、よりよい教育効果をあげるため(DP2)に、心理学的な側面から教育活動において配慮すべき重要な諸要因や問題について検討(DP1,3,4)し、それを教育実践に生かすこと(DP5)を目指す学問分野です。本講義では、まず、歴史的な背景に触れ、その後、今日、教育心理学が取り上げている諸問題あるいは諸分野についての大きなアウトラインについて学習します。それに続いて、教育心理学が取り上げている次のような主要な分野について学習します。

1. 教授—学習にかかわる心理学的に大事な事柄について学習します。つまり効果的な教材の利用の仕方、学習の動機付け、その他学習理論や教育技法について学びます。
2. 教育における測定・評価の問題について学習します。つまり、教授・学習の効果測定、また教育計画の際に大事な学習者の学習習得レベルの把握などの測定・評価、また測定・評価にあつて留意すべき諸問題などについて学習します。
3. 学習と発達の問題を学習します。教育の目的は、よりよい発達を目指してなされるものであるといえます。したがって、好ましい発達を促すような教育と発達との関係について学びます。
4. 教育は、また個々の生徒の個人差や個性を十分に配慮し、個性の伸長と一方社会性の発達を促す必要があります。それを目指す指導、つまり生徒指導のあり方について学習します。
5. 学校教育は、学校ないしは学級といった集団の中で主になされますが、集団は、そこに所属する集団のメンバーに対して、さまざまな集団力学が作用します。したがって、集団の持つ作用機序について学習します。
6. 学校教育において、特別支援教育が進められる中で発達障害が注目されています。それらの障害の特徴や指導のあり方について学習します。

学修目標

- 1) 学習の心理学を理解し、指導に活用できる。
- 2) 教育評価について理解し、説明できる。
- 3) 子どもの発達について理解し、教育に活用できる。
- 4) 個人と集団の心理について理解し、指導に活用できる。
- 5) 学校不適應の問題について理解し、指導に活用できる。

評価方法

科目単位認定試験により評価。